

5-1 働きやすく働きがいのある職場とは

POINT

- 良い職場は働きやすさと働きがいの両方を満たしている
- 働きやすく働きがいのある職場は、会社にとってもメリットが大きい

働きやすく働きがいのある職場とは

私たちが良い職場という時、2つの意味が含まれている。働きやすさと働きがいである。

働きやすい職場とは、快適な環境や設備、良い人間関係や風通しの良い風土、働く私たちを支えてくれる制度や仕組みを備えていて、安全安心に働くことができるような職場である。

一方、働きがいがある職場とは、自分の思いと職場の目的が同じ方向を向いていて、「頑張って働けば報われる」と思えるような職場である。働きやすさと働きがいのどれを欠いても「この職場でずっと働いていこう」とは思わないだろう(図1)。

働きやすく働きがいのある職場の要件

働きやすく働きがいのある職場とは、以下の5つを得ることができる職場である。

1. 達成感(目標達成の喜びを感じる)

ビジョンや経営方針に共感し、会社や職場に将来への希望、誇りを持つことにより、会社や職場の目標と自分の目標を関連づけることができ、その達成に喜びを感じるができる。

2. 認定感(自分の存在価値を感じる)

自分の仕事が人や社会に貢献しているといった存在価値を実感することができる。また、ハラスメントがない風通しの良い風土があり、お互いの仕事に関心を持ち協力し合うことができる。

3. 責任感(業務遂行への意欲、使命感を感じる)

権限が委譲されるなど、上司から信頼され任されているという実感を持つことができる。そして自分の仕事の業績への貢献度もわかり、その評価や処遇にも納得感があって頑張ろうと思える。

4. 成長感(自己実現、能力の向上を感じる)

仕事の幅が広がったり、やりたい仕事を任せられることで、能力が向上していると感じられ、なりたいたい自分になることができると思える。

5. 快適さ(ムダなく快適に働くことができる)

給与など基本的な労働条件や労働環境の整備により、安全にムリなくムダのない働き方ができ、サポート体制の整備により、休暇が取りやすくワークライフバランスを実現することができる。

働きやすく働きがいのある職場のメリット

働きやすく働きがいのある職場は、働く人自身だけではなく会社にとってもメリットがある。

1. 業績の向上

働く人が心身ともに健康で、高いモチベーションを持って積極的に働くことで、生産性が高まる。また、会社や職場内でのコミュニケーションが活発になり部門間の連携が良くなる。

2. 人材の成長

会社への帰属意識が高まり、ここで働き続けたいと思うような人材の定着と成長を促す。

3. 従業員満足度の向上

自分の仕事が社会や会社に与える影響を理解することにより、Q・C・Dの向上によって業績に貢献することを通じて満足感を得るようになる。

職場づくりの進め方

高齢者や外国人、派遣など立場の違いによって職場に求めるものは異なる。リーダーがなすべきことは、多様な人々が快適に働けるよう職場環境を整備すること、ビジョンや経営理念を中心に多様な人々をまとめていくことである。

図1 働きやすく働きがいのある職場

